



文部科学省

「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」

地域未来構想人材育成プログラム

大阪/神戸/和歌山

講座説明会



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学



文部科学省

産学連携・スキリング・
エコシステム構築事業

AIが答えを出す時代。 未来は、構想した人のものになる。

事業構想のエッセンスを体験する4日間。

地域未来構想人材育成プログラム 大阪

2026年10-11月 計4回開催

会場：事業構想大学院大学 大阪校／オンライン



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学



文部科学省

文部科学省
産学連携・スキリング・
エコシステム構築事業

AIが答えを出す時代。

未来は、構想した人のものになる。

事業構想のエッセンスを体験する4日間。

地域未来構想人材育成プログラム 神戸



2026年10-11月 計4回開催



会場：アンカー神戸



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学



文部科学省 産学連携・スキリング・エコシステム構築事業

AI が答えを出す時代。
未来は、**構想**した人のものになる。
事業構想のエッセンスを体験する4日間。

地域未来構想人材育成プログラム 和歌山



2026年10-11月 計4回開催



会場：和歌山 Key Site (キーサイト)

文部科学省 産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業とは

大学等と産業界等が連携し、
企業や地域などの人材育成ニーズを踏まえた
リスキリングプログラムを開発・提供することで、
産業成長や地域課題の解決、
新たな価値創出を担う人材の育成を推進するものです。



事業構想大学院大学も採択事業者の一つとして、
これまで培ってきた社会人教育や、
企業・自治体・金融機関をはじめとする多様な組織との連携の知見を活かし、
実践的な人材育成プログラムを展開しています。

本プログラムもその一環として、
社会や地域のこれからを担う方々に、
新たな価値を構想するための学びの機会を提供します。

01

INTRODUCTION

リスキリングを、もっと身近に。

文部科学省は、社会人が新しい知識やスキルを学び直す「リスキリング」の機会を、より多くの人に広げようとしています。

大学院修士課程で培ってきた「事業構想学」の
カリキュラムから、そのエッセンスを凝縮。

新たな価値や未来を構想するための考え方を、
全4回の講座で実践的に体験いただきます。

より多くの社会人に、これからの時代に必要な
「構想する力」に触れていただくことを目指しています。



WHY PROJECT DESIGN NOW

事業構想大学院大学とは

事業構想大学院大学とは

事業構想大学院大学は、AI時代・不確実な時代に求められる、「社会や顧客の変化から課題の本質を捉え、実現したい未来を描き、事業として実現する道筋をつくる」事業構想について、日本で唯一体系化したカリキュラムを保有する社会人向け大学院です。

修士課程

事業構想修士 MPD （2年間）
Master of Project Design

事業の根本のアイデアから発想し、理想となる事業構想を考え、実現可能になるようアイデアを洗練させ、構想計画を構築することを目的とした学問。



Sendai

Nagoya

全国5つのキャンパス

Tokyo

Osaka

Fukuoka

WHY PROJECT DESIGN NOW

大阪校



WHY PROJECT DESIGN NOW

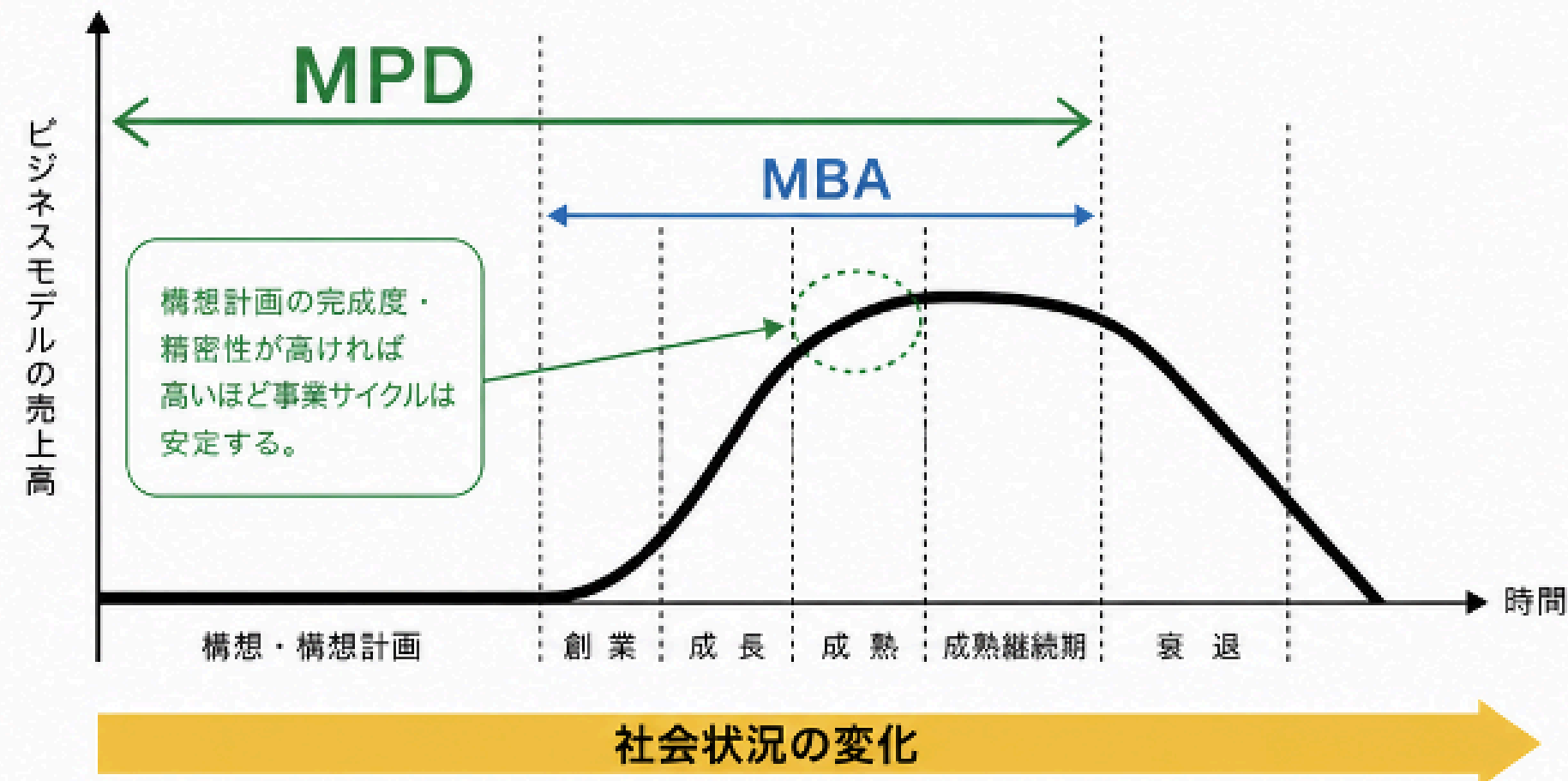
事業構想大学院大学とは

MBAではなく、 MPD。

Master of Project Design／事業構想修士

MBAが既存事業や組織を分析し、経営資源を最適に活用しながら経営管理の高度化を目指すのに対し、MPDは、まだ形になっていない事業の根本的なアイデアから発想し、理想の姿を描き、実現可能な構想計画へと具体化していく力を養う学びです。

「まだない事業を、
構想し、形にする。」



MPD 新しい価値を創る

新規事業開発・事業承継・地域活性化・
組織変革・社会課題解決に向き合う学び



MBA 既存事業を強くする

既存の事業や組織の分析・最適化・
経営管理に向き合う学び

本学が目指すのは、社会や市場の変化を読み解き、自ら問いを立て、理想の事業を描き、周囲を巻き込みながら実現へと進めていく人材です。MPDで培う『構想する力』は、既存の延長線上だけでは答えが見つからない時代にこそ大きな意味を持ちます。

WHY PROJECT DESIGN NOW

事業構想大学院大学とは

修士課程

事業構想修士 MPD (2年間)

Master of Project Design

2年間で、修士論文ではなく

「事業構想計画書」を作成

事業の概要

- ① 事業の目的/② 顧客セグメント/③ 事業としての提供価値とその持続性
- ④ 顧客との関係構築の方法、アイデア ⑤ 売上根拠とコスト試算 ⑥ チャンネル・販路とその開発アイデア
- ⑦ 価値提案の拠り所として必要とされる重要な経営資源と事業主体 ⑧ 価値を作り出すための重要な活動
- ⑨ 外部の協力者とコラボレーションする目的 ⑩ 初期投資額

事業主体

フィールドリサーチ
マーケティング・アイデア
ストーリー/スケジュール
収支計画
リスクマネジメント

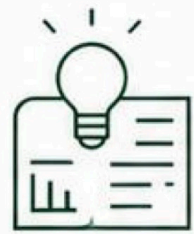
- ① 事業主体となる組織 ② 事業主体の活用する経営資源（根源的な強み）
- フィールド・リサーチの計画と結果
- ① ブランド戦略 ② プロモーション、顧客開発、③ マーケティング・コミュニケーション
- 事業立ち上げまでの具体的なステップ、参入→浸透→拡大 等
- 3年で単年度黒字、5年で累積損失一掃の計画と、数字（単価と数量）の根拠を記載
- ① 社会・市場環境の変化 ② 競合環境 ③ 組織環境 ④ 撤退方針



WHY PROJECT DESIGN NOW

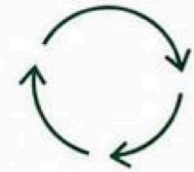
社会が変わるいま、学びの意味も変わっている

AI時代の変化の中で、
新しい事業、組織の変革、これからのキャリアを考える人へ。



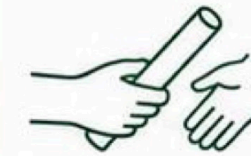
新規事業

自社の次の柱となる事業を、
どう構想すればいいのだろう。



企業変革

市場や技術の変化に対応しながら、
自社の強みをどう次の価値へ
つなげるべきだろう。



事業承継

受け継いだ経営資源を活かして、
次の成長戦略をどう描けば
いいのだろう。



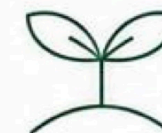
キャリア

これまでの経験を活かして、
次はどんな価値を生み出す
キャリアを築けるだろう。



地域活性

地域の課題や資源を、
持続可能な事業として
どう形にできるだろう。



起業

まだ世の中にない価値を、
構想で終わらせず事業として
どう実現すればいいのだろう。

WHY PROJECT DESIGN NOW

なぜいま「構想力」なのか

事業構想大学院大学で学ぶのは、
知識を増やすことではありません。
社会や顧客の変化を捉え、実現したい未来を描き、
それを事業として動かしていく力です。

具体的には、

- ・ まだ満たされていないニーズや課題の本質を見つける。
- ・ アイデアを、価値を生み続ける事業の仕組みに組み立てる。
- ・ そして、社内外の人に伝え、共感と協力を得ながら実現へ進める。

本学では、こうした一連の力を体系的に磨いていきます。

WHY PROJECT DESIGN NOW

AIを使うことは、もう特別ではなくなる

生成AIの進化により、情報収集や分析、
資料作成、アイデア出しは、
これまで以上に速く、効率的になっています。

AIを使うこと自体は多くの仕事で当たり前の前提になります。
だからこそ、これから差がつくのは、
AIを使えるかどうかではありません。

社会の変化を捉え、
自分たちの経験や資源、多様な知を結びつけながら、
まだ存在していない未来を描き、その実現への道筋を考える。
それが、これからの時代に求められる「構想する力」です。



WHY PROJECT DESIGN NOW

エピソード：AIが企画の平均点を上げるほど、事業は似ていく

企業の人事担当者の方々とお話ししていると、
新規事業研修や事業コンテストで提案される企画は、
以前よりも「きれいに整ってきた」と聞きます。
その背景には、やはりAIが使われているようです。

市場分析、ターゲット設定、ビジネスモデル、収益イメージ。
AIを活用すれば、一定水準の企画を、
短時間でまとめられるようになりました。

一方で、企画を並べてみると、似たような顧客、似たような課題、
似たような解決策が多い。論理は通っていても、
どこかありきたりで、心をひかれない。

AIが企画の平均点を引き上げるほど、「なぜ、この事業なのか」という
独自性がなければ、事業は簡単に埋もれてしまいます。



WHY PROJECT DESIGN NOW

差がつくのは、「問い」の質である

どれだけ技術が進化しても、

「どのような未来を実現したいのか」

「誰に、どのような価値を届けるのか」

「自社や地域の資源を、どのように活かすのか」

という問いは、

人が向き合い、構想すべきものです。

AI時代に求められるのは、問いを立て、

価値を見出し、未来を具体化する力です。



WHY PROJECT DESIGN NOW



普通に生活を送ってでは出会えない、
多様な業界のビジネスパーソンとの学び。

一緒に学ぶ院生は、メーカー、金融、コンサル、
鉄道、不動産、IT、通信、教育・出版、製薬、
教員、公務員、医者、地方議員。上げればきりがありません。

WHY PROJECT DESIGN NOW

発想を市場投入するまでを体系的に学ぶ



サイクルを回し続け、事業
構想を創る力を実践的に習
得する

- 1 異分野の知識を横断的に結びつけ、革新的なアイデアを生む「統合的思考力」を育成
- 2 多様な思考法を活用し、目的に応じたアイデア創出力を実践的に習得
- 3 発想から市場投入までの流れを「事業構想サイクル」で体系的に学ぶ
- 4 経営学の理論と実務知を融合し、実現可能な構想計画を策定する力を養成
- 5 多様な教員・院生との共創により、価値観の広がり新たな気づきを得られる環境

WHY PROJECT DESIGN NOW

カリキュラム一覧

(2026年度)

基礎科目	原論	・事業構想原論Ⅰ ・事業構想原論Ⅱ
	人間・社会・技術・地域・ビジネス洞察	・社会動向と事業構想 ・テクノロジーと事業構想 ・経営資源と事業構想 ・経済動向と事業構想 ・事業戦略 ・事業構想事例研究（事業構想スピーチ）
専門科目	発・着・想	・イノベーションの発想 ・クリエイティブ発想法 ・アーティスト思考と構想
	構成案	・ビジネスモデル研究 ・市場・顧客分析 ・自社研究・経営資源分析 ※(承)
	フィールドリサーチ	・フィールドリサーチ（顧客開発）
	構想計画	・新事業マーケティング ・新事業の営業戦略 ・知を生かす事業構想（知財戦略） ・企業内起業実践 ・アントレプレナーのための構想計画立案 ・事業構想のためのファイナンス ・事業承継における組織人材戦略とリーダーシップ ※(承) ・統合的企業構想 ※(承) ・オペレーションモデル研究
	コミュニケーション	・コミュニケーションの基礎 ・コミュニケーション戦略

実践的で体系的なカリキュラム

事業を構想し、計画し、実践できる人材を育成

展開科目	事業領域	・地域における事業構想 ・地域活性とイノベーション ・ヘルスケアと事業構想（2026年度限定科目） ・社会インフラの本質とビジネス ・メディア（経済）の視点（2026年度限定科目） ・社会課題からの発想（2026年度限定科目） ・グローバル視点での事業構想（2026年度限定科目） ・サービスエリア、パーキングエリアから考える地域活性（2026年度限定科目） ・観光まちづくりⅠ（2026年度限定科目） ・観光まちづくりⅡ（2026年度限定科目）
	経営学	・リスクマネジメントとガバナンス ・ブランド戦略 ・グローバルビジネス（2026年度限定科目） ・収支計画立案とビジネス会計（2026年度限定科目） ・組織戦略論 ・長寿企業研究 ※(承) ・事業戦略事例研究（2026年度限定科目） ・成長戦略／M&A
演習科目	1年次	・事業デザイン演習Ⅰ（1年次）前期 ・事業デザイン演習Ⅱ（1年次）後期 ・事業承継の構想計画（1年次）後期 ※(承)
	2年次	・事業構想演習（2年次） ・事業承継構想演習 ※(承)

※カリキュラムは一部変更になる場合があります

※(承)：事業承継コース科目

※修了要件：34単位以上を取得すること

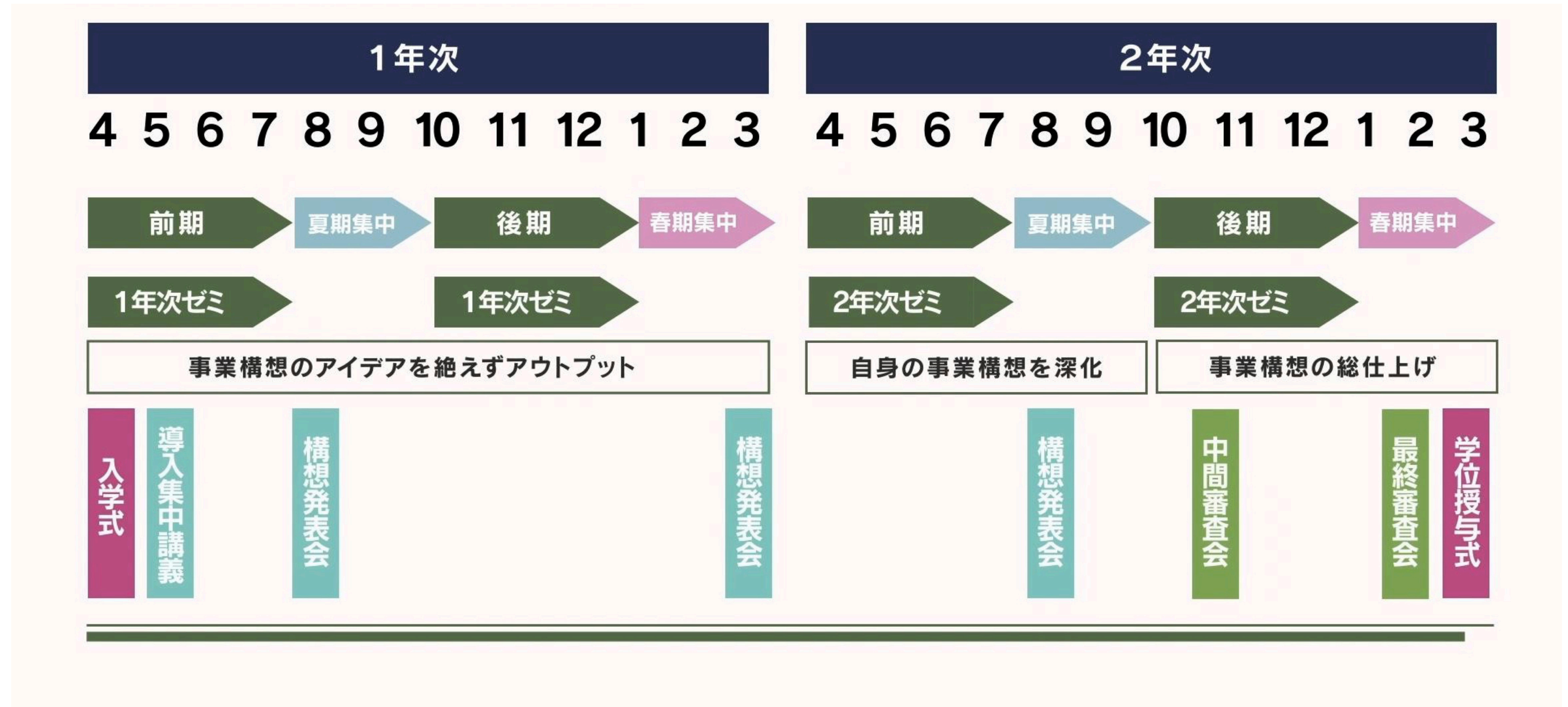
・基礎・専門科目から合計20単位以上（必修3単位＋選択必修17単位以上）を取得

・2年次演習科目の中から4単位以上を取得すること



WHY PROJECT DESIGN NOW

2年間の院生生活



WHY PROJECT DESIGN NOW

仕事と両立しやすい時間割

	1限 10:30-12:00	2限 13:00-14:30	3限 14:40-16:10	4限 16:20-17:50	5限 18:30-20:00	6限 20:10-21:40
月					平日夜間	
火						
水						
木						
金						
土	土曜昼					

週2〜3日程度の受講で修了可能
平日2〜3日/平日1、土曜日1日など
様々なパターンが可能

INTRODUCTION

大学院の学びを、全4回で体験

ここまでご紹介した事業構想大学院大学の学びから、
未来を描き、実現への道筋を考えるための
エッセンスを凝縮した講座を実施します。

文部科学省が推進するリスキリングの取り組みの一環として、
大学院での学びをより身近に、
気軽に体験いただける全4回のプログラムです。

新規事業や既存事業の変革、地域課題の解決など、
具体的なテーマがまだ決まっていない方もご参加いただけます。

PROGRAM

講座プログラムのご紹介

地域未来構想人材育成プログラム 大阪

会場

事業構想大学院大学 大阪校(グランフロント大阪 タワーC 10F)
オンライン(ZOOM)
※会場・オンライン同時開催

受講料

10,000円

日程 | 全4回

第1回 10月21日（水）18:30～21:00

「顧客を創り、未来をデザインするマーケティング思考」（小宮 信彦 特任教授）

第2回 11月9日（月）18:30～21:00

「テクノロジーで変わる世界を、どう捉えるか—未来の兆しを読み解き、
自分たちの「次」を構想する—」（藤井 康弘 教授）

第3回 11月16日（月）18:30～21:00

「持続可能な新規事業開発の進め方」（橋本 良子 特任教授）

第4回 11月30日（月）18:30～21:00

「事業構想から地域の未来を考える-地域の“いま”を見つめ、次の一手を構想する-」
（田村 典江 准教授）

小宮 信彦

特任教授

(株)電通 シニア・
イノベーション・ディレクター
日本マーケティング学会 理事



株式会社電通 シニア・イノベーション・ディレクター、
日本マーケティング学会 理事。左脳と右脳、オンラインと
オフライン、戦略と実践等を踏まえたホリスティックな
新事業開発を得意とし、多様なクライアントのビジネス変革、
マーケティング戦略立案に豊富な実績を持つ。また、社内
起業家としてISID Deloitte、電通eM1（現、電通デジタル）、
電通コンサルティング創業に参画。現在、スタートアップ
支援ならびに、2025大阪・関西万博の共創プロジェクト・
プロデュースに従事。経営学修士（2001年9月 神戸大学大学院）。

藤井 康弘

教授



松下電工株式会社（現パナソニック株式会社）入社。
総合技術研究所、経営企画室、R&D企画室長（兼）
新事業企画室長、エネルギーソリューション事業推進室長等を
経て、エコソリューションズ社まると事業推進本部 副本部長、
東京オリンピック・パラリンピック推進本部 事業企画部長を
歴任。前職は、株式会社インテック事業戦略推進本部 事業企画部
新規事業企画担当。大阪大学大学院修了（修士）。

橋本 良子

特任教授



奈良女子大学卒業後、松下電工（現・パナソニック）入社。
中央研究所をはじめ、新規事業開発、商品企画、経営管理
および中小企業の新事業開発などの経営支援に携わる。
現在は、立命館大学ビジネススクール非常勤講師、同大学
OIC総合研究機構 客員研究員。コーポレートベンチャーリング、
経営組織、アントレプレナーシップが専門。博士（経営学）。
2016年には、大阪商工会議所から育児と仕事を両立しながら
優れた業績をあげている女性管理職に贈られる第1回大阪
サクヤヒメ表彰活躍賞を受賞し、後進女性へのアドバイスなど
も行っている。株式会社アテクト監査役。

田村 典江

准教授



京都大学大学院農学研究科博士課程修了。農学博士。
大学院修了後、民間コンサルティング企業2社において農林漁業や
農山漁村に関するコンサルティング業務に従事。2016年からは
研究職へと籍を移し、総合地球環境学研究所FEASTプロジェクト
にて上級研究員として持続可能な食農システムの研究に従事。
2022年より事業構想大学院大学にて新規事業の構想者を育成する
教育・研究に携わる。また2025年10月より総合地球環境学研究所を
兼任（准教授）。多元世界プロジェクトのリーダーとして、「人と
自然のよりよい関係」をメインテーマに据え、実践的な研究を
展開している。

【専門】農林漁業政策、自然資源管理、コモンズ
【所属学会】林業経済学会（評議員）、日本森林学会、
日本水産学会、公共政策学会など

地域未来構想人材育成プログラム 神戸

会場

アンカー神戸 イベントスペース
〒650-0001 兵庫県神戸市中央区加納町4丁目2-1
神戸三宮阪急ビル 15階

受講料

10,000円

日程 | 全4回

第1回 10月20日（火）18:30～21:00

「テクノロジーで変わる世界を、どう捉えるか
—未来の兆しを読み解き、自分たちの「次」を構想する—」
(藤井 康弘 教授)

第2回 10月27日（火）18:30～21:00

「正しい」を哲学する— 答えのない時代に、自分の判断軸を問い直す哲学的思考—
(下村 智典 助教)

第3回 11月12日（木）18:30～21:00

「持続可能な新規事業開発の進め方」
(橋本 良子 特任教授)

第4回 11月24日（火）18:30～21:00

「事業構想計画の本質とその策定プロセスについて」
(二村 暢朗 特任教授)



藤井 康弘 教授

松下電工株式会社（現パナソニック株式会社）入社。総合技術研究所、経営企画室、R&D企画室長（兼）新事業企画室長、エネルギーソリューション事業推進室長等を経て、エコソリューションズ社まると事業推進本部副本部長、東京オリンピック・パラリンピック推進本部 事業企画部長を歴任。前職は、株式会社インテック事業戦略推進本部 事業企画部新規事業企画担当。大阪大学大学院修了（修士）。



下村 智典 助教

上智大学外国語学部卒業、京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程修了、京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程研究指導認定退学。2019年より京都大学こころの未来研究センター特定研究員、2022年より京都大学人と社会の未来研究院特定研究員を経て、2026年より事業構想大学院大学助教。専門は社会思想、政治哲学。



橋本 良子 特任教授

奈良女子大学卒業後、松下電工（現・パナソニック）入社。中央研究所をはじめ、新規事業開発、商品企画、経営管理および中小企業の新事業開発などの経営支援に携わる。現在は、立命館大学ビジネススクール非常勤講師、同大学OIC総合研究機構客員研究員。コーポレートベンチャリング、経営組織、アントレプレナーシップが専門。博士（経営学）。2016年には、大阪商工会議所から育児と仕事を両立しながら優れた業績をあげている女性管理職に贈られる第1回大阪サキヤヒメ表彰活躍賞を受賞し、後進女性へのアドバイスなども行っている。株式会社アテクト監査役。



二村 暢朗 特任教授

（株）ハビタットラボ 代表 マーケティングディレクター
1990年電通入社から2020年退社までマーケティング部門の現場一筋。マーケティングディレクターとして、家電、酒類、製菓、住宅設備、食品、洋菓子、FC、外資系日用品、エネルギー、BtoB企業、行政等、大手から新興企業に至るまで様々なクライアント担当し、関西マーケティングソリューション室長、マーケティング・クリエイティブセンター局長補を歴任。得意領域は、幅広い経営課題に対するコミュニケーション領域からのコンサルティング。事業計画立案から企業ブランディング～商品マーケティングまで、また、国内からグローバル課題まで、経営層の様々な相談に、自ら経験してきた異業種事例を適宜引用しながら対応する。2018年大阪事業構想大学院大学特任教授として、主に構想計画策定の演習を担当。
2021年よりハビタットラボ代表。地方の幸福価値を高めるため、持続できる事業を構想支援するラボとして、地域発のソーシャルビジネスや企業のプロトタイプ段階の新事業を支援する。大阪大学経済学部卒業（学士）。

地域未来構想人材育成プログラム 和歌山

会場

KEY SITE (キーサイト) 2F イベント会場
〒640-8341 和歌山県和歌山市黒田二丁目18番5号
JR和歌山駅東口徒歩約8分

受講料

10,000円

日程 | 全4回

第1回 10月14日 (水) 18:30～20:30

「顧客を創り、未来をデザインするマーケティング思考」
(小宮 信彦 特任教授)

第2回 10月30日 (金) 18:00～20:30

「正しい」を哲学する— 答えのない時代に、
自分の判断軸を問い直す哲学的思考」(下村 智典 助教)

第3回 11月13日 (金) 18:00～20:30

「アントレプレナーシップとまち育て」
(ゲスト講師 和田 真治 和歌山大学 アントレプレナーシップデザインセンター
起業家精神涵養教育部門 教授 (副センター長))

第4回 11月27日 (金) 18:00～20:30

「事業構想から地域の未来を考える-地域の“いま”を見つめ、
次の一手を構想する-」(田村 典江 准教授)



小宮 信彦
特任教授
(株)電通 シニア・
イノベーション・ディレクター
日本マーケティング学会 理事

株式会社電通 シニア・イノベーション・ディレクター、
日本マーケティング学会 理事。左脳と右脳、オンラインと
オフライン、戦略と実践等を踏まえたホリスティックな
新事業開発を得意とし、多様なクライアントのビジネス変革、
マーケティング戦略立案に豊富な実績を持つ。また、社内
起業家としてISID Deloitte、電通eM1 (現、電通デジタル)、
電通コンサルティング創業に参画。現在、スタートアップ
支援ならびに、2025大阪・関西万博の共創プロジェクト・
プロデュースに従事。経営学修士(2001年9月 神戸大学大学院)。



下村 智典 助教

上智大学外国語学部卒業、京都大学大学院人
間・環境学研究科修士課程修了、京都大学
大学院人間・環境学研究科博士後期課程研究
指導認定退学。2019年より京都大学このの
未来研究センター特定研究員、2022年より
京都大学人と社会の未来研究院特定研究員を
経て、2026年より事業構想大学院大学助教。
専門は社会思想、政治哲学。



田村 典江
准教授

京都大学大学院農学研究科博士課程修了。農学博士。
大学院修了後、民間コンサルティング企業2社において農林漁業や
農山漁村に関するコンサルティング業務に従事。2016年からは
研究職へと籍を移し、総合地球環境学研究所FEASTプロジェクト
にて上級研究員として持続可能な食農システムの研究に従事。
2022年より事業構想大学院大学にて新規事業の構想者を育成する
教育・研究に携わる。また2025年10月より総合地球環境学研究所を
兼任(准教授)。多元世界プロジェクトのリーダーとして、「人と
自然のよりよい関係」をメインテーマに据え、実践的な研究を
展開している。

【専門】農林漁業政策、自然資源管理、コモンズ
【所属学会】林業経済学会(評議員)、日本森林学会、
日本水産学会、公共政策学会など

こんな方におすすめです

- ▶ 新規事業や新たなプロジェクトを考えている方
- ▶ 既存事業をこのまま続けてよいのか、次の方向性を考えたい方
- ▶ 自社の技術・ノウハウ・顧客基盤などを、新たな価値につなげたい方
- ▶ 事業承継や第二創業を機に、会社のこれからを考えている方
- ▶ 社会や地域の課題を、新たな事業の可能性として捉えたい方
- ▶ AI時代に必要となる、新しい思考法や構想力に触れてみたい方

「新規事業と言われても、まだテーマが決まっていない」

「何か変えなければと思っているが、次に何をすればよいか分からない」

「自分の仕事や経験を、もっと別の可能性につなげてみたい」

そんな段階からでもご参加いただけます。本プログラムは、
完成した事業計画を持つ方だけのための講座ではありません。

むしろ、これから何を考えていくべきなのかを考えるところから、
事業構想は始まります。

応募方法

本プログラムは文部科学省事業の一環として実施するため、エントリーフォームにご入力いただく自己紹介や本プログラムへの応募目的等をもとに、受講の可否を確認させていただきます。

内容を確認のうえ、受講の可否をご連絡させていただきます。なお、受講可能とさせていただいた方には、あわせて、受講料のお支払い方法についてもご案内いたします。

まずは、エントリーフォームより必要事項をご入力の上、お申し込みください。

応募方法

応募は、下記のエントリーフォームよりお申し込みください。入力内容は下記のとおりです。

- 氏名
- 所属(企業・団体 / 部署 / 役職)
- 郵便番号
- 住所
- E-メール
- 電話番号
- 入金方法(銀行振込/Paypal)
※企業等の名義で入金の場合は振込人名義
- 自己紹介文(100-200文字程度)
- 本プログラム応募の目的(100-200文字程度)
- 備考

フォーム送信後、2営業日以内に受講の可否をご連絡いたします。

受講決定後、受講開始前までに受講料を納入してください。

受講料は、銀行振込またはペイパル（クレジットカード）で納付ください。

受講者が所属する企業名義での振り込みも可能です。

請求書が必要な場合は応募フォームの入力箇所でチェックしてください。

PDFで登録先のメールアドレスにお送りします



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学

お問い合わせ

事業構想大学院大学
大阪校

osaka@mpd.ac.jp